

河川事務所の河川内樹木採取公募に応募して 河川内樹木 を採取・活用した事例と問題点

2024年6月25日

自然応用科学株式会社

目次

1. 弊社について3
2. 河川内樹木の活用事例4
3. 公募採取の目的と実績5
4. 河川内樹木の採取の流れ6
5. 河川内樹木採取の問題点と対策① コスト7
6. 河川内樹木採取の問題点と対策② 工程9
7. さいごに11

1. 弊社について

社名： 自然応用科学株式会社

本社： 愛知県名古屋市中区錦1-13-26

事業： 農園芸・緑化資材の製造及び販売

リサイクル事業（緑のリサイクル・食品リサイクル）

林業・農業（青果物の生産・生産指導及び販売）、他付随事業

拠点： 岐阜県（本巣市、山県市）

三重県（いなべ市、多気町）

愛知県（瀬戸市）

2. 河川内樹木の活用事例



→
チップ加工



→
堆肥化



3. 公募採取の目的と実績

公募採取の目的

木質資源の安定在庫
生産・出荷の安定稼働



バイオマス発電所への供給
堆肥製品の製造

公募採取の実績

実施年度

2016年～2023年度
(※2021年度を除く)

採取量

500t～2000t(年間)

4. 河川内樹木の採取の流れ

- 河川管理者、伐採事業者、採取事業者の3社打ち合せの実施
- 樹木の集積場所、車両の進入路、採取時期、数量の打ち合わせ
- 採取開始



採取前

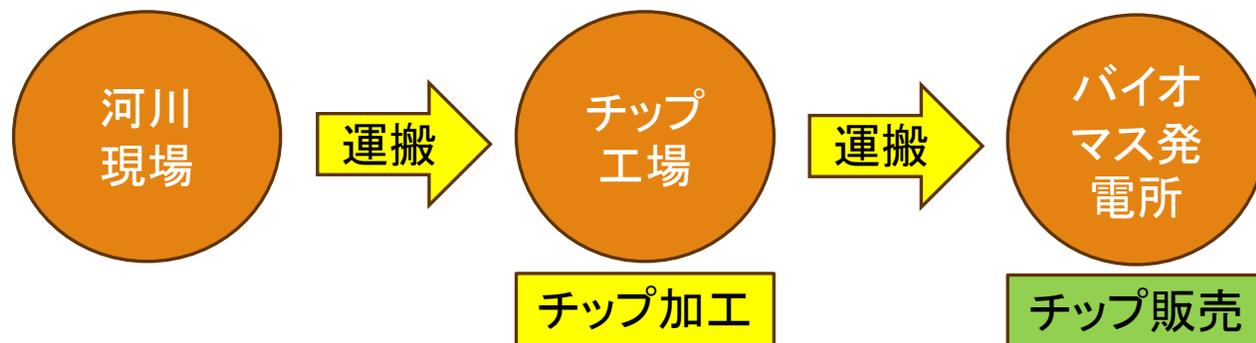


採取中



採取後

5. 1 河川内樹木採取の問題点と対策① コスト



問題点

- ・最低2回の運搬を伴う
- ・枝葉は1車あたりの積載量が少ない
- ・荷役機械付の車両が必要
- ・土、異物の混入

運賃×2回＋
チップ加工費

<

チップ
販売額

となるように対策が必要

5.2 河川内樹木採取の問題点と対策① コスト

実施した対策

- ・伐採業者へ、積込みしやすい集積を依頼(ひと固まりに集積)
→車両を動かさずに積込することで、積込時間短縮
- ・伐採業者へ、枝葉の長さを揃えて頂くよう依頼
→荷台に隙間なく積込できる為、積載量の増加



今後検討したい対策

- ・伐採業者へ、現場重機での積込を依頼
→積込機械付車両でなくても運搬可能



6. 1 河川内樹木採取の問題点と対策② 工程

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○

置場一杯で伐採できない
早く次の現場へ行きたい
鉄板を早く片づけたい



引用:いらすとや

問題点

- ・秋～年度末にかけて採取時期が集中
- ・搬出が集中し、車両が不足
- ・搬出の遅れ、現場工程の圧迫



6. 2河川内樹木採取の問題点と対策② 工程

実施した対策

- ・伐採業者と搬出タイミングの調整
- 伐採、搬出共に負担が少ないタイミングを設定

今後検討したい対策

- ・伐採業者へ、現場重機での積込を依頼
- 積込機械付車両でなくても運搬可能。車両の確保がしやすい
- ・河川管理者へ、集積箇所作業性保を依頼
- 鉄板不要で、多く集積できる箇所の設定



7. さいごに

弊社では木質原料の確保という目的で公募採取に取り組んでおり、原料在庫の安定化に寄与しているものの、現在収益の確保は実現できていない。

運搬コスト、実施工程に問題を抱えている中で、現場毎に対策を立て、伐採事業者へ協力をお願いしながら採取を進めている。

持続可能な取り組みとするためには、河川管理者、伐採事業者、採取事業者の3社にメリットのある体制作りが必要であると認識しております。